



学校だより
第6号

花っ子

那覇市立垣花小学校
校長 宮城 弘之
令和2年7月3日

教育目標「夢と希望を育み どの子も楽しく学び 生き生きと活動する垣花っ子の育成」

“平和学習（6年）”



6月25日（木）は、6年生を対象に「平和学習」を行いました。例年、体育館で全校児童を対象に平和集会を実施していましたが、コロナウィルス感染防止対策のため縮小して6年生のみの参加となりました。対馬丸記念館の語り部として活躍されている外間邦子さんを講師にお招きし、沖縄戦を前に“学童疎開”がなぜ行われたのか、疎開先の九州（宮崎・大分・熊本）でどのように生活していたかなど詳しくお話しをされました。

学童疎開船「対馬丸」は、1944年（昭和19年）8月、疎開途中鹿児島県沖で米潜水艦の魚雷を受けて沈没し、学童約800名含む約1500名の尊い命が失われています。邦子さんはこの対馬丸事件で、当時小学校3年生と5年生だった姉二人を亡くされており、遺族として対馬丸記念館の設立に関わり、後生に「対馬丸」のことを長年語り続けて来

られました。6年の児童からは「疎開先ではどんな食事でしたか？」「疎開船のトイレはどんなものでしたか？」など質問もあり、邦子さんは優しく丁寧に教えていただきました。

対馬丸事件をはじめ沖縄戦では多くの人命が失われました。今を生きる私たちは、その多くの犠牲の上に、「生かされている」のではないかと考えます。垣花っ子の皆さん、平和学習や平和旬間を通して「又チドゥタカラ」（命の尊さ）、平和の大切さについて深く考える機会にしてください。そして、学校で学んだことは、お家の皆さんにも伝え、ご家族と一緒に「戦争」「平和」について考える機会をつくってほしいと思います。外間邦子様、貴重なご講話ありがとうございました！

“校内研修（理論研修）”

6月30日（火）は、言語活動（読む・書く・話すなど）の指導の工夫を通して、児童の「思考力・判断力・表現力」を育てる授業の充実を目指し、先生方の授業力（指導力）を伸ばすための理論研修会を開催しました。本校でも勤務経験（H29）のある県立総合教育センター研究主事の永田聖子先生をお招きして、校内研究の方向性や、言語活動の考え方、子ども達に身につけさせたい力の在り方など、ご講話くださいました。どの子も楽しく学び、生き生きと活動する垣花っ子の育成（教育目標）を図るために、子ども達が、自分の考えを持ち、お友だちとの交流を通して、自分の考えを広げ深めるなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に、今後も取り組んでまいります。



校庭の花

スクールゾーン道路側の花園には、オオバナサルスベリの木があり、現在、紫色の花をキレイに咲かせています。オオバナサルスベリはインド、東南アジアなどの熱帯アジア原産の落葉高木です。“猿もすべる”ほどつるっとした幹が特徴的な夏の花です。

花言葉は「愛嬌（あいぎょう）」「雄弁（ゆうべん）」。



7月の主な行事予定

- 1日（水）全体朝会（校長講話）
- 2日（木）学校保健委員会
- 7日（火）視力検査（全学年）体育館
- 10日（金）安全点検・人権の日
小中一貫教育情報交換会（鏡原中）
- 12日（日）公立学校教員候補者選考試験（一次）
- 21日（火）個人面談（～30日）5日間
- 29日（水）小中合同運営部会（垣花小・小嶺南小・鏡原中）
- ※8月 1日（土）～10日（月）夏季休業日
- ※8月 3日（月）～ 7日（金）学校閉庁日
- ※8月11日（火）1学期後半スタート

コロナV対策（マスク・手洗いなど）及び熱中症対策（水分補給・着帽・休養など）を引き続きよろしくお願いたします。